

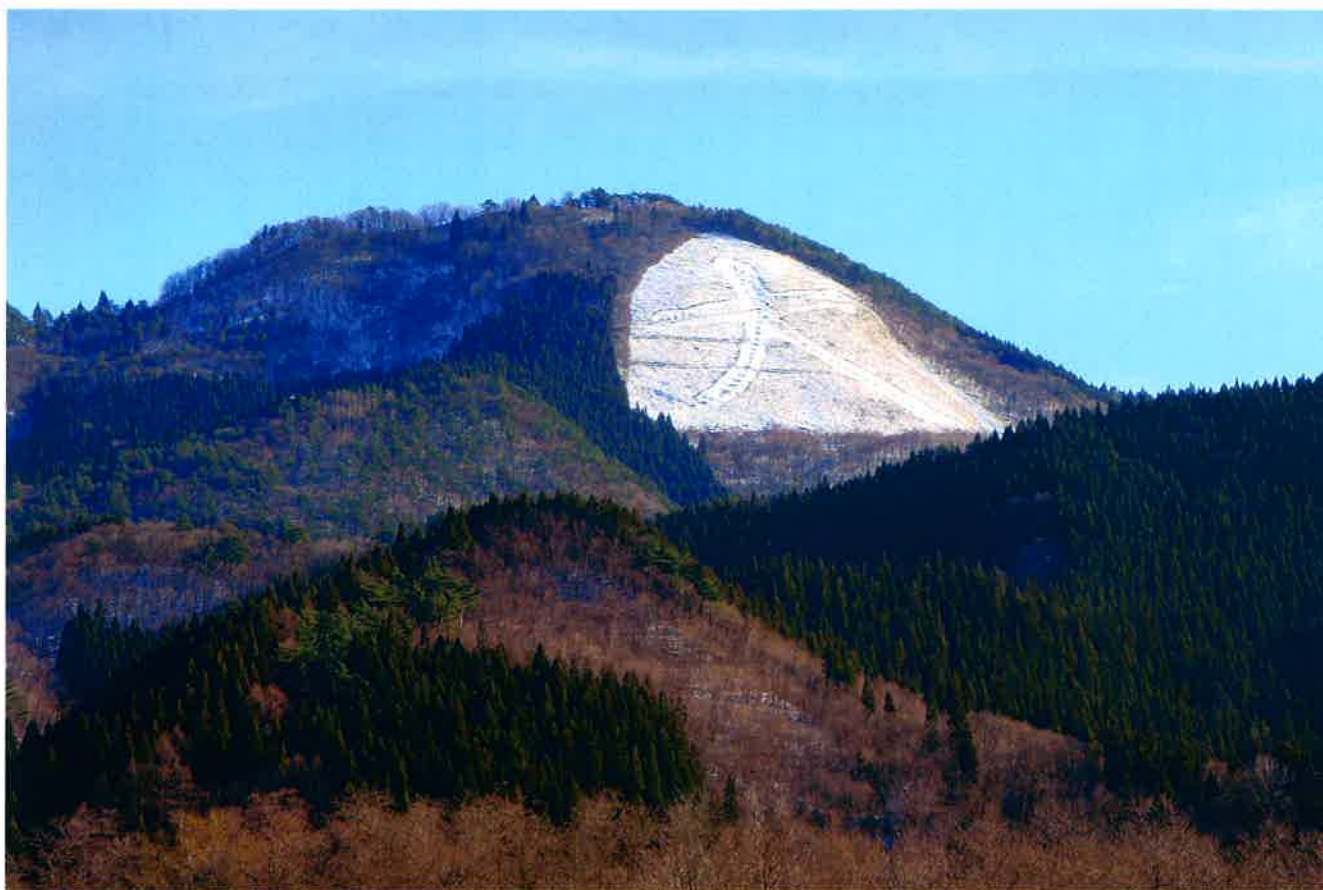
公益社団法人 大館市シルバー人材センター

会報
シルバー

おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088

ホームページ <http://webc.sjc.ne.jp/odate/> メールアドレス odate@sjc.ne.jp



写真：うっすら雪化粧「大文字」、初冬の鳳凰山(520.4m)



12月末現在会員数

男性	450人
女性	159人
計	609人

※前年比21人増

大館	450人
田代	81人
比内	78人

本年もよろしく
お願い申し上げます

他職員一同

監事	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副会長	会長
岩田	中嶋	千葉	山本	木越	浅利	本間	安田	畠山	伊藤	菅原	安達	三浦	鳴海
久子	瑞穂	正三		恵操	二勇	鉄雄	鏝郎	壽介	アヤ子	明裕	公正	剛衛	

謹賀新年

新年のご挨拶



会長

鳴海 義衛

新年明けましておめでとございます。会員の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、私が生まれた翌年、昭和二十二年の日本人の平均寿命は男性五十一歳、女性五十四歳だったそうです。それが今や男性八十一歳、女性八十七歳で、七十三年間で三十歳以上も寿命が延びております。また、健康寿命を見ても男性七十二歳、女性七十五歳で当時の平均寿命を超えております。このように多くの人が長生きするようになり、百歳を見据えて生きる時代になりました。

私たちはこれまで、最初に長寿を、次に健康寿命の延伸を目指してきましたが、今は、それぞれの人が役割を持って社会に貢献できる期間とされる「貢献寿命」の延伸に変わりました。

ご承知の通り、我が国の人口構成は、医療・介護費の多くかかる七十五歳以上の割合が増えるのは確実です。そのため国は、どの年代も安心して暮らせる全世代型社

会保障の実現を目指しており、高齢者や女性の就労を促し、保険料や税金を負担する「制度の支え手」を増やす必要があるとしています。

実現には、これまでの「支えられる側」と「支える側」という二元的な見方をやめ、世代を問わず社会の支え手となる「元気人口」をいかにして増やすかにかかっております。生涯現役社会の実現、まさにシルバー人材センターが実践していることです。

会員の多くは、現役時代の経験にこだわらず、新しい職種に挑戦しています。就労活動を通じて地域社会の活力維持に寄与し、人と接する機会が増えることで認知機能や筋力の衰えを防ぐなど、健康増進にも役立つています。

当センター会員の平均年齢は七十三歳で、最高齢は男性八十九歳、女性八十八歳です。八十歳以上の会員は六十九人おりますが、そのうち四十六人、六十七%の方々が元気に就労しています。真に素晴らしいことだと思えます。会員の皆様、今後も健康と安全に十分配慮しながら「貢献寿命」を延ばし、行動するシニア世代として地域社会の発展に尽くして下さいようお願いします。

本年も多くの仲間とともに、楽しく、元気に、そして存分に活躍し、実り多き年にしましょう。

新年のご挨拶



大館市長

福原 淳嗣

新年 あけましておめでとございます。

会員の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

大館市シルバー人材センターにおかれましては、日々会員の皆様の豊かな経験や知識を活かした生活発な事業活動により、高齢者の生きがいづくり、地域社会づくりに大いに貢献いただいております。会長をはじめ、事務局、会員の皆様の熱意とご尽力に心より敬意と感謝の意を表します。

現在、企業は六十五歳までの「定年の引上げ」「継続雇用制度の導入」「定年の廃止」のいずれかの方法で高齢者雇用を確保しなければなりません。秋田労働局がまとめた令和元年「高齢者の雇用状況」によると、さらに七十歳以上まで働くことのできる企業の割合は四三・七%で、秋田県が六年連続で全国一位となりました。本県の高齢化率が全国で最も高いことも一因ではありますが、高齢者が持つ力を求める企業が多い

ことが最大の理由と考えます。

そこで重要となるのが、シルバー人材センターの持つ役割と会員皆様のお力です。ワンコインサービスや通院介助など高齢者の生活支援、空き家管理などの新サービスに多くの依頼があり、働き手不足に悩む事業所への派遣も年々増加していると伺っております。皆様は昭和・平成の時代に培ってきた知識や技術、経験が今、令和において地域社会の担い手として必要とされております。

現在、本市では新たなまちづくりの指針となる「第二次新大館市総合計画 後期基本計画」及び「第二期大館市総合戦略」の策定を進めています。そこに示す本市の目指すべき将来像「匠と歴史を傳承し、誇りと宝を力に変えていく」「未来創造都市」と「高齢者が年齢にかかわらず働き続けられる生涯現役社会」の実現に向けてより一層取り組みを強化していくことをお誓いいたします。どうか皆様には、引き続き大館のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴センターの益々のご発展と、本年が皆様にとりまして幸多き素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

会員紹介「年男・年女」

今年の干支は...「子」

子年生まれの会員に、

- ①趣味や特技...
 - ②今年の目標や抱負...
 - ③最近嬉しかった事...
- について伺いましたので、ご紹介いたします。



二十四班 野呂 寿

- ①野球、家庭菜園。
- ②古希の野球チームに所属しています。昨年の全県大会は残念ながら二回戦敗退でした。体調管理に気を配り、今年が良い成績が残せるよう練習も頑張りたいです。

③お盆に埼玉に住んでいる次男家族が二年ぶりに帰省してきました。子供は女の子二人(中2と高2)ですが、二人とも母親より背が伸びてビックリしました。今後の成長が楽しみです。



三班 金澤 澄子

- ①編み物。
- ②除草作業に今年も頑張りたいです。でも、ちよつとペースダウンしようと思っています。
- ③昨年一年間働けたこと。お陰様で除草班の「お楽しみ会」に参加できました。楽しかったです。



三班 伊藤 孔八

- ①庭いじり、テレビドラマ鑑賞。中でも韓国ドラマに夢中!
- ②四月で会員になって二十年になります。そろそろ...と思いつつも、軽作業だったらできるので頑張りたいです。
- ③一番嬉しかったのは大学院一年生(早稲田大学)の孫が、卒業設計日本一決定戦に出て一位になったことです。ユーチューブで見られると言われましたがさっぱり解りません。代わりに



七班 山口 鉄子

ビデオを送ってもらいました。

- ①小さな庭ですが、いろいろな花を植えて春から秋まで楽しんでいます。
- ②とにかく健康でいることです。一日々を大切に過ごしながら頑張ります。
- ③孫に二人目が産まれました。うれしいです。



五班 菅原 憲子

- ①ユニカール、卓球。
- ②健康に気を付け、仕事にスポーツに頑張りたいと思っています。
- ③ユニカールの東北地区交流田代大会と比内大会で優勝したことです。



二班 大森 仁

- ①野球観戦、山菜採り、山歩き。
- ②健康増進の為、なるべく歩くこと。また、人との対話を多く持つことに心がけたい。
- ③令和元年は親戚縁者に不幸事が多く、全く良いことがありませんでした。今年こそ嬉しいことがあります。よう願っております。



十三班 荒川 嘗治

- ①ゴルフ、釣り、庭木の手入れ。
- ②体を鍛えてゴルフに十回ぐらいは出かけたと思っています。
- ③庭木班の剪定も終え、仲間と函館に一泊旅行しました。ホテルの美味しい食事、お酒は飲み放題、仲居さんが秋田の女性で優

しい人でした。
翌日は海鮮市場で買い物、昼は
鮮魚料理で一杯やり、大いに盛
り上がりました。



十七班
蛇川 福蔵

③陸上競技、将棋。

②冬季はウォーキングと温泉で健
康づくり。

③会員になり早十七年。皆様には
家内とともにお世話になってお
り感謝しています。

マラソンで鍛えた体も最近疲れ
やすく、孫たちに「おじいさん
老人だよ、もうそろそろ」と
言われています。ひ孫七人、笑
顔ではしゃぐ姿は涙がこぼれる
ほど可愛いです。



二十一班
蛇川 重美

①パチンコ、グラウンドゴルフ(夕

イヤモンド賞獲りたい。無理か
な)

②健康に気をつけて、もう少しシ
ルバーで頑張りたいです。

③生産活動「寿会」で作っている、
注連飾りと彼岸花を綺麗だと褒
められたこと。



十八班
島山 薫

①スポーツ観戦と山菜採り。

②今年も元気で働きたいと思いま
す。鉄道の除雪と農家の手伝
いに頑張ります。

③秋田県種苗交換会のコメの部門
で優秀賞を頂いて嬉しかったで
す。今年はずっと上を目指して
頑張りたいと思っています。



十六班
米沢 忠行

①ボケ防止に麻雀、健康維持に太
極拳を十年ぐらい続けています。

②趣味や旅行が楽しめるよう、健
康に気をつけて頑張ります。

③御朱印帳に記帳してもらいな
ら出雲大社、厳島神社など神
社・仏閣を巡ったこと。



二班
松澤 健三

①夏山登山とウォーキング。

②健康に気を配る。
③昨年、事故なく過ごせたこと。



六班
布谷 保子

①山野が好きで、年五回以上国立
公園「八幡平」に行き、自然を
楽しんでいきます。

②健康を考え体を動かし、友達と
の交流を多くし、子年を元気に
過ごせること。

③地域との交流(世代間交流)を
多く持ちますと、年齢を重ねる
と共に「長生きしてね」と言われ

嬉しく思います。また、シルバ
ーからTELLがあれば、何でも参
加したいと思っています。



十四班
鳴海 實余子

①趣味・特技など特にありません。
②数年遠退いていた山菜取りに行
くこと。もう一つは、呆け防止
のため「日本漢字能力検定」に
挑戦したいと思っています。

③昨年十月、横浜の孫(小四)の
運動会に行ってきました。孫が
クラスメイトに「秋田のバアバ
だよ！」紹介してくれて大変嬉
しかったです。
今年も剣道大会の応援に行きた
いと思っています。

子年生まれの会員は、八十
四歳の方が二十三名、七十二
歳の方が四十九名在籍してい
ます。
誌面の関係上全員ご紹介で
きず申し訳ございません。良
いことがたくさんありますよ
うお祈り致します。

「夫婦で会員になりました」

「ジイジ、シルバーに登録したら!」

七班
谷地 孝男

「転勤続きの、営業職三十八年の私は、ここ大館で定年退職をしました。」

木工細工が趣味で、よく姉に頼まれては、お茶の小道具や孫たちの玩具、本棚、机等を作って楽しんでおりましたが、十年程前に大病を患い十時間余りの大手術を受けました。今でも大館市立総合病院のN先生やO先生のお世話になっており、命の恩人と深く感謝しております。やはり「早期発見、早期治療」が大事です。

昨年の三月頃、近くに嫁いでいる次女から、「体、大丈夫だよな? ジイジ、シルバーに登録したら!」と勧められました。早速シルバー人材センターに伺い、丁寧な説明を受け、家内と一緒に入会するこ

とにし会員となりました。

これまでの仕事は、マキ運びや選挙開票場の準備、マラソン大会の交通整理の手伝い、駐車場の案内等々、経験したことのない仕事ばかりでした。中には数日続く仕事もありましたが、一日でリタイヤしてしまい申し訳ない思いでした。それなのにセンターの職員は、「無理しなくてもいいですよ」と親切に言っ下さり、気持ちが楽になりました。

シルバーの仕事は、力まずに、ほど良い汗をかきながら、自分の出来る事でお役に立てるように続けられればと思っております。

私も家内同様、シルバー人材センターからの連絡を待っているところです。

「会員になりました」

八班
多賀谷 正和

私がシルバー人材センターに入会したのは昨年の七月です。

前々からハローワークのシルバー相談会や新聞等で知っておりましたが、六十八才で仕事をリタイヤし五年間のブランクがあること。また、ボランティアで色々やっておりますので、自分の都合で仕事ができるのか?他人に迷惑をかけるしまうのではないかな?など心配ばかりでなかなか決心が付きませんでした。

しかし、気力と体力が続く限り何とかなるだろうと思いい、シルバー人材センターを訪問。会員のしおりを貰って説明を聞いたら今までの不安が一変に解消され、早速その場で入会することにしました。

私は薬品卸会社に三十年勤め病院、開業医、薬局への営業を十五年間、後の十五年間は中間管理職として働きました。最初は本館で採用され、その後は秋田、能代、弘前、青森に転勤、最後は大館に戻って平成十四年に退職いたしました。

その後、知人の紹介で大館公共職業安定所に勤め、その後は北秋田地域振興局に採用されて約五年勤め、六十八才でリタイヤしました。ハローワークでは職業相談を三年、地域振興局では各事業所を

訪問し、社長または人事担当者へ求人票を出して頂くよう依頼しておりました。当時の有効求人倍率は〇・五倍ほどでした。今では過去最高の一・五倍、高卒就職内定率も毎年三月までに百分となつています。今まで薬だけしか分らない自分でしたが、良い経験をさせて頂いたと思っております。

シルバー人材センターに入会して約半年。殆ど駐車場管理ですが、弁当持参で仕事に出かける事がとても新鮮で、前の日からそわそわし、誰と一緒になのか、どんな仕事かなどと興味と不安が入り交り、皆に迷惑をかけないよう頑張ろうと思う日々です。

皆様方も色々な趣味を持って人生をエンジョイしていると思いますが、私は会員同士の親睦・コミュニケーションも大切だと思っております。そこで、三月までにカラオケ同好会を立ち上げたいと思っておりますので、実現できた時には是非会員になって頂き、ご協力をお願いする次第です。

また、前の会報に掲載されておりますが、「会員増強」の元年度目標が六百二十二人となつておりました。会員増強など、これまでに培った経験を生かし、大館市シ

ルバー人材センターの発展に少しでも寄与したいと思えます。ご指導よろしく願います。

きらめき世代

「メイクアップ講座」

当センターでは設立以来様々な講習・講座を開催してきましたが、昨年七月に、それまでとは一風変わった講座を実施しました。

何かと申しますと、六十歳以上の一般女性を対象にした「メイクアップ講座」の実施です。

女性会員の拡大策に端を発したのですが、外部の調査報告によれば女性の場合、男性と違って何か仕事をするというよりは、趣味や健康や他者との交流などに興味を示す傾向にあるそうです。そのようなことから、女性の関心をひくものは何だろうと、あれこれ考えた末、お化粧の講座にたどり着いたわけです。

当センターの場合、女性会員の比率は二十六%程度に止まり、全国的にも、また、秋田県内センターと比較しても低位にあります。人口構成は男性より女性の方が多いのに、入会率が男性に比べて極端

に低いのです。そこで、女性会員が増えれば必然的に会員増加につながるだろうと考えたものです。



自己流を反省、正しいお肌の手入れに納得！

当初、受講者が集まるか心配しましたが、蓋を開けてみると募集を超える申し込みとなりました。さすが講師にお願いした「資生堂ジャパン」のブランド名は絶大だと、感銘しました。

実施当日、ホスト役を務める当センターのスタッフは女性の役員で固め、鳴海会長はじめ男性陣は完全シャットアウトで進めました。また、入会の勧めなども極力控え、まずはシルバー人材セン

ターに親しみを持ってもらえるよう配慮しました。

講師の先生は資生堂ジャパン秋田支社から来られましたが、気さくでとても話し上手で、好感度抜群の方でした。

受講者の評判は上々で、アンケートを見てもシルバー人材センターに対しても良い印象を持ってくれたと感じました。シルバー人材センターのイメージアップにつながったと思っております。

シニアライフ講座 「豊かなシニアライフに向けて」

秋田県シルバー人材センター連合会の主催で、昨年の九月九日、当市において「豊かなシニアライフに向けて」と題し、シニアライフ講座が実施されました。

当日は六十歳から八十歳台の市民二十七人が参加。健康セミナーや座談会のほか、ハローワーク大館による雇用情勢の紹介、各種個別相談なども行われました。

中でも座談会では、当センター会員の齋藤留美子さんと成田輝明さんがパネラーとして協力。シルバー会員となったきっかけや就業

経験などについて語っていただきました。



シルバーって、どんなところかな？

シルバー人材センターの良いところも不満な面も含めたシルバー会員の生の声ですから、受講者一同興味津々、真剣な表情で耳を傾けておりました。シルバーの実態がよく伝わったと思います。

齋藤さん、成田さん、ありがとうございます。これを機に会員が増えてくれるよう願っております。



新会員紹介

新澤 幸夫	一班	山内 清弘	一班	佐々木 健一	六班	中村 敏英	六班	熊田 幸子	六班	渡辺 利春	六班	樽川 勤	六班	三津谷 直義	八班	石木田 直勲	十一班	桐生 敦子	十一班	櫻庭 幸雄	十三班	富樫 寿春	十三班	滝川 美佐子	十三班	関 政彦	十六班	木次谷 和則	十六班	渡邊 榮子	十七班	武田 勇一	十七班	奈良 貞二	十八班	小笠原 一雅	十九班	佐藤 功美子	十九班	武田 久	二十班	浅利 房子	二十一班	乳井 隆雄	二十二班	中田 忠男	二十三班	畠山 諭	二十三班
-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	--------	----	--------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	--------	-----	------	-----	--------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	--------	-----	--------	-----	------	-----	-------	------	-------	------	-------	------	------	------

・以上、七月以降に二十六名の方が新しく仲間入りしました。

「役職員街頭宣伝活動」

昨年、当市で第百四十二回「秋田県種苗交換会」が開催されました。十八年振りに巡ってきた集客力の大きなイベントです。この機会に交換会会場で役員によるチラシ配布活動を三回実施しました。ポケットティッシュや花の種が入ったチラシです。

その前の六月には田代「たけのこ祭り」で、九月にはイオンスーパーセンターといとくシヨッピングセンターでチラシ配布活動を実施しております。次は、一月の比内「とりの市」会場で実施します。

大館市へシルバー支援の要請

昨年九月五日、鳴海会長と三浦副会長及び事務局長の三人に加え大館市商工課の菅原課長補佐にも同行していただき副市長室を訪問。公務ご多忙の中、名村副市長と面談させていただきました。



全シ協総会決議…
シルバー支援の要請書手交

鳴海会長から「全シ協総会決議文」を手交させていただきました。併せて日ごろの支援のお礼と新年度の補助金確保や会員の仕事提供など要請することができました。

名村副市長はシルバー会員の奮闘ぶりを高く評価しておられ、労いと激励のお言葉を頂戴しました。

田代「寿会」の注連飾り

今年も田代「寿会」様から大きな「注連縄」が届けられました。寿会の皆様が丹精込めて作った立派な注連飾りです。お陰様で気持ちも新たに清々しく新年を迎えることができました。



寿会の皆様、ありがとうございます

計 報

23班 本間幸男殿(77歳)
職員 大元俊博殿(67歳)

ご冥福をお祈りいたします

お知らせ

新春「麻雀大会」のご案内

- ・期 日 令和2年1月24日(金)
- ・時 間 8時45分集合
- ・会 場 シルバー人材センター
- ・参加費 千五百円(賞品・昼食代)
- ・募集人数 先着二十人
- ・申込みは事務局へ49-4088

●確定申告の季節です

- ①シルバー配分金は、公的年金と同種の「雑所得」です。
- ・年金と配分金所得のみの方は、六十五万円の特例控除があります。
- ②一方、「労働者派遣事業」で働いた方は「給与所得」になります。
- ・秋田県シルバー人材センター連合会から「源泉徴収票」が送付されますので、配分金とは区別し、「給与所得」として申告してください。

●地域班会議に参加を

- ・担当の班長・副班長さんから「地域班会議」の案内があります。
- ・意見交換の良い機会ですので、

是非参加して下さい。

●会員登録の継続と年会費自動引落しのお願

- ・二月中に、令和二年度年会費の自動引落とし事務の關係で、継続して会員登録していただけるか、又は退会されるか、確認のための「通知文書」が配布されます。
- ・退会せざるを得ない方は「退会届」の提出をお願いします。
- ・なお、期日までに退会届が提出されない場合は、継続して会員登録するものと致します。
- ・継続して会員登録される方は、届出不要です。
- ※なるべく退会しないようお願いいたします。
- ・継続会員登録の場合、「ゆうちょ銀行」の口座から年会費が自動引落しされます。手数料と年会費で3025円です。三月下旬に手続きをしますので、通帳残高の確認をお願いします。

●入会促進に協力を

- ・会費規程を一部改正しました。
- ①一・二月入会 ↓ 半額
- ②三月入会 ↓ 全額免除

- ③夫婦会員 ↓ 配偶者のどちらか一方を半額。(入会初年度に限る)
- ・会員の皆様、友人・知人、奥様・旦那様にも入会を勧めてください。
- ※夫婦会員は二十七組あります。

●三月の入会説明会

- ①三月十一日(水)
- ②三月二十五日(水)
- ※四月以降、毎月第二・第四水曜日に開催します。(午前十時開始)

●配分金支払い日

- 十二月分 ↓ 一月三十一日
- 一月分 ↓ 二月二十八日
- 二月分 ↓ 三月三十一日
- 三月分 ↓ 四月三十日
- 四月分 ↓ 五月二十九日
- 五月分 ↓ 六月三十日
- 六月分 ↓ 七月三十一日

●今度から「配分金明細書」を送付します

今まで「配分金明細書」の必要な方にはセンターまで取りに来ていただいておりますが、十二月作業分から該当会員に郵便で送付することにいたしました。(圧着式のハガキです)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会報第七十八号の発行に際しましては、大館市長はじめ多くの皆様にご寄稿いただき、有難く、深く感謝申し上げます。

さて、昨年(の)日本列島は未曾有の天災に見舞われ、各地で甚大な損害を被りました。「想定外」という言葉が何度となく使われましたが、ある災害の専門家は「想定そのものが不確定であり、財政的・技術的に予防には限界がある。被害を受ける国民のものもの時にどうするかという対応の心構えが大切だ」と提言しています。

一方、シルバー会員の就業時の事故も散見されます。こちらは安全の基本を守り、一人一人が気をつければ未然に防げることが多いと思います。防災は難しくとも就業中の事故は防げるのです。

本年は、シルバー事業の一層の発展を願うとともに、無事故無災害を祈りたいと思います。

(三浦 安田、菅原、伊藤、本間、浅利)